★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ **The Future We Want**

Name：高杉口 充希　Age：11　Date：5/13

水、石油、石炭など人間が生がいを通して必要な資源が減少する一方の今、僕たちができることはいったいどんなことでしょうか。

このまま未来へ進んでいくと、いずれは気温が上がって海面が上昇、大規模な水不足などが起こることは目に見えています。ですが僕たちが望む未来すなわち"The Future we want"はそのようなものではありません。環境を破壊せず、少ない資源を大事にし、以前失われたもの、失ってしまったものは少しずつおぎなっていくことが僕たちの望む未来です。この未来をつくるためにやらなければいけないことは、第一に、自然をもとの姿にもどすことです。

様々な理由で伐採されてきた木々、別に良いだろうと捨てた、ゴミがたまった川や海、これらのことに対して、平気な顔でいられるのは今だけです。やがて地球には温暖化の原因となる二酸化炭素が多く発生しても、それを吸収する植物が

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ないために人間にとって不便な世の中となってしまいます。また、よごされた川や海に生息する生物は、たまったゴミのせいでその場所に住めなくなっていつかは死んでしまいます。そうならないためにも自然を元にもどすということはやらなければいけないことなのです。

第二に、資源のうばい合いによる争いをやめることです。地球にある資源が少なくなっていることは事実です。しかしその少ない資源をどう使えばよいかをもう一度考えてみて下さい

少ない資源をむだ使いした方がいいと思いますか？少ない資源を求めてまで争いを起こした方がいいと思いますか？ですが僕たちは資源が少ないからこそ、資源を多く持つ国は資源の少ない国に分ける。分けた後は資源の使い方を考えてむだ使いをしない。という分かち合いの行動をすることが正しいと考えます。

第三に、失ってしまったものを徐々に備うということです。資源は減る一方だと申しましたが、実はそうではあ

りません。例えば使い終わった紙、リサイクルできるものはリサイクルすればもう一度使えます。水ですら使ったあと浄化すればまた使えます。実際にもうやっている人だってたくさんいます。失ったものを放置していれば、そこからは何も変化しないし何の役にも立ちません。だからこそおぎなうということは大切なのです。みなさんが望んでいる未来はいったいどんなものでしょうか。壊れてしまったら新しいものを作り、また壊れたら作り…をくり返してやりますか？その「作り」の部分にはたくさんの労動と資源が使われています。壊れてしまったものは役に立たないものになってしまいます。だから壊れてしまったらその部分をおぎなっていく、ということをしなければいけません。

あなた方大人は僕たちよりたくさんの経験を積み重ねて地球のためになることを必死でがんばって行っています。僕たち子供ができることはそんな大人の立派な姿を目標として出来るかぎりのことをやっていくことです。これからも努力し続けて、the future we wantを完成に導いて下さい。